国語・200字作文対策 解答解説

構成・条件照合・模範解答｜複数の正解｜一律の部分点なし

対象教科	国語
対象単元	作文（条件整理・資料理解・主張・理由・具体例・段落構成・200字以内）
問題構成	基礎5問・標準5問・本番形式3問
問題数	13問
目標時間	120分
難易度	基礎～標準
公式確認日	2026-07-30

採点観点の使い方

テーマと設問条件に合っているか、資料や文章の主張を的確に捉えているか、自分の意見とその根拠となる理由・具体例が適切か、構成と表現が読み手に伝わるかを確認します。作文には複数の適切な答えがあります。各学校が部分点の基準と点数を定めるため、本教材では一律の部分点や減点数を設定しません。

作文には複数の適切な答えがあります。ここに示す模範解答は一例であり、唯一の正解ではありません。設問条件と採点観点に照らして判断してください。

問題 1

区分：基礎

資料Aを踏まえ、読書時間を取り入れる案への自分の意見と、その理由を一つ書きなさい。

設問条件

・案への賛成または反対を明確にする。

・資料Aの内容に触れる。

・理由を一つ書く。

・40～90字で書く。

考え方

・賛成か反対かを先に決める。

・資料中の効果か心配点を一つ選ぶ。

・「なぜなら」「からだ」などで理由を結ぶ。

構成例

・第一文：読書時間への賛成意見。

都立入試ナビ

・第二文：気持ちの切替えと集中という理由。

正答：私は、昼休みの最初に読書時間を設ける案に賛成だ。静かに本を読むことで気持ちを切り替え、午後の授業に集中しやすくなるからだ。

模範解答

私は、昼休みの最初に読書時間を設ける案に賛成だ。静かに本を読むことで気持ちを切り替え、午後の授業に集中しやすくなるからだ。

文字数確認

文字数：61字（指定字数：40〜90字）

条件を満たしている箇所

・「賛成だ」で立場を明確にしている。

・資料の「静かに読む」「午後の授業」に対応している。

・集中しやすくなるという理由がある。

主張

昼休みの最初に読書時間を設ける案に賛成である。

理由

静かな読書によって午後の授業へ気持ちを切り替えやすいから。

具体例

この問題では字数が短いため、具体例の代わりに資料中の効果を根拠として用いている。

段落構成

一段落で、主張の後に理由を置く。

使用表現

・私は〜に賛成だ。

・〜しやすくなるからだ。

詳しい解説

短い作文でも、立場だけで終わらず、資料の内容と理由を結び付けます。資料をそのまま写すのではなく、自分の判断の根拠として使います。

採点観点

案への立場、資料内容とのつながり、理由の明確さ、指定字数を確認します。

間違いやすい点

「よいと思う」だけで理由を書かないことや、友達との会話についてだけ述べて資料の案への立場を示さないこと。

都立入試ナビ

別の適切な書き方

私はこの案に反対だ。昼休みは友達と自由に話して関係を深める時間でもあり、毎日十分間を決めてしまうと交流の機会が減るからだ。

見直しポイント

最初の一文だけを読み、賛成か反対かが分かるか確認する。次に「なぜ」と問い、後半が答えになっているかを見る。

問題 2

区分：基礎

会話を踏まえ、清掃場所の分担を毎週変えることへの自分の主張と理由を書きなさい。

設問条件

・自分の主張と理由を区別する。

・会話のどちらかの考えに触れる。

・50〜100字で書く。

考え方

・主張を「私は〜と考える」で一文にする。

・会話から根拠に使う考えを選ぶ。

・「〜からだ」で理由を示す。

構成例

・第一文：分担を毎週変えるという主張。

・第二文：複数の場所を経験する利点。

正答：私は、清掃場所の分担を毎週変える方がよいと考える。美咲の言うように複数の場所を経験すれば、場所に合った掃除方法を比べて学べるからだ。

模範解答

私は、清掃場所の分担を毎週変える方がよいと考える。美咲の言うように複数の場所を経験すれば、場所に合った掃除方法を比べて学べるからだ。

文字数確認

文字数：66字（指定字数：50〜100字）

条件を満たしている箇所

・「変える方がよい」が主張である。

・美咲の発言を踏まえている。

・掃除方法を比べて学べることを理由にしている。

都立入試ナビ

主張

清掃場所の分担は毎週変える方がよい。

理由

複数の場所に合う掃除方法を比べながら学べるから。

具体例

美咲の「いろいろな場所を経験できる」という発言を根拠にしている。

段落構成

一段落で、主張と理由を一文ずつ分ける。

使用表現

・私は～方がよいと考える。

・～すれば、～できるからだ。

詳しい解説

主張は結論、理由はその結論を支える説明です。会話中の意見を選び、自分の言葉で理由を具体化します。

採点観点

主張と理由の区別、会話内容の利用、因果関係、字数を確認します。

間違いやすい点

会話を要約するだけで自分の立場を書かないことや、「経験できるからよい」と同じ内容を繰り返すこと。

別の適切な書き方

私は、同じ場所を一か月続けて担当する方がよいと思う。蓮の考えのように、同じ作業を重ねれば、汚れやすい所に気付き、掃除の方法を改善できるからだ。

見直しポイント

主張の文に一重線、理由の文に二重線を引き、役割が入れ替わっていないか確認する。

問題 3

区分：基礎

資料Bを踏まえ、あいさつのよさについて、始め・中・終わりが分かる短い文章を書きなさい。

設問条件

・あいさつのよさを主張する。

・資料Bの感想を踏まえる。

・最後に今後の行動を書く。

都立入試ナビ

・70～120字で書く。

考え方

・始めに文章全体の主張を書く。

・中で資料を根拠として示す。

・終わりに自分がどうするかを書く。

構成例

・始め：あいさつは人との距離を縮める。

・中：資料の参加者の感想。

・終わり：自分も会話のきっかけを増やす。

正答：あいさつには、人との距離を縮める力がある。資料では、普段話さない人とも言葉を交わせたという感想があった。私も相手の目を見てあいさつし、会話のきっかけを増やしたい。

模範解答

あいさつには、人との距離を縮める力がある。資料では、普段話さない人とも言葉を交わせたという感想があった。私も相手の目を見てあいさつし、会話のきっかけを増やしたい。

文字数確認

文字数：81字（指定字数：70～120字）

条件を満たしている箇所

・冒頭にあいさつのよさがある。

・中ほどで資料の感想を踏まえている。

・最後に自分の行動を書いている。

主張

あいさつには人との距離を縮める力がある。

理由

普段話さない人とも言葉を交わすきっかけになるから。

具体例

校門でのあいさつ運動に参加した生徒の感想。

段落構成

一段落の中を、主張・資料・今後の行動の三つに分ける。

使用表現

・～には、～力がある。

・資料では、～という感想があった。

都立入試ナビ

・私も～したい。

詳しい解説

短い文章でも、情報を置く順序を決めると読み手が理解しやすくなります。資料は中央に置き、最初の主張を支えます。

採点観点

主張、資料の利用、今後の行動、始め・中・終わりの流れを確認します。

間違いやすい点

最初から自分の体験だけを書き、資料に触れないことや、最後に新しい話題を加えること。

別の適切な書き方

あいさつは、新しい関係を始める小さな行動だ。校門での活動では、普段話さない相手とも言葉を交わせた。私も毎朝、自分から明るく声を掛けたい。

見直しポイント

各文の役割を「主張・資料・行動」と余白に書き、同じ役割が重なっていないか確認する。

問題 4

区分：基礎

資料Cを踏まえ、本を人に紹介することのよさを、具体例を一つ加えて書きなさい。

設問条件

・本を紹介することのよさを書く。

・資料Cを踏まえる。

・自分の体験または想定した具体例を一つ加える。

・80～130字で書く。

考え方

・資料から分かるよさを一文でまとめる。

・資料中の変化を短く示す。

・同じよさを表す自分の体験を加える。

構成例

・主張：本の紹介は読書の幅を広げる。

・資料：新しい分野の本を借りた生徒。

・具体例：友達の推薦で科学の物語を読んだ体験。

都立入試ナビ

正答：本を紹介し合うと、読書の幅を広げられる。資料の生徒は、紹介をきっかけに新しい分野の本を借りた。私も友達から科学の物語を勧められ、苦手だと思っていた分野を楽しく読めたことがある。

模範解答

本を紹介し合うと、読書の幅を広げられる。資料の生徒は、紹介をきっかけに新しい分野の本を借りた。私も友達から科学の物語を勧められ、苦手だと思っていた分野を楽しく読めたことがある。

文字数確認

文字数：88字（指定字数：80〜130字）

条件を満たしている箇所

・読書の幅を広げられるというよさがある。

・資料の生徒の行動を踏まえている。

・科学の物語を勧められた体験がある。

主張

本を紹介し合うと読書の幅を広げられる。

理由

自分だけでは選ばない本を知る機会になるから。

具体例

友達から科学の物語を勧められ、楽しく読めた体験。

段落構成

一段落で、主張・資料・自分の具体例を順につなぐ。

使用表現

・〜をきっかけに、〜した。

・私も〜たことがある。

詳しい解説

具体例は主張と同じ方向を向く必要があります。資料の例と自分の例を並べると、主張の説得力が高まります。

採点観点

資料理解、主張と具体例の対応、文章のまとまり、指定字数を確認します。

間違いやすい点

具体例が読書と関係なかったり、本の内容紹介が長くなって主張が見えなくなったりすること。

都立入試ナビ

別の適切な書き方

本の紹介は、同じ本でも違う見方があると気付ける点がよい。私は物語の主人公を勇敢だと思ったが、友達の紹介を聞き、迷いながら行動した人物だという見方も知った。

見直しポイント

具体例の前に「例えば」を補って読んでも意味が通るか、例が主張を支えているか確認する。

問題 5

区分：基礎

資料Dを踏まえ、大切な連絡を確実に伝える方法について、「だ・である」調で統一して書きなさい。

設問条件

・連絡方法について自分の考えを書く。

・資料Dの課題を踏まえる。

・文末を「だ・である」調に統一する。

・80〜130字で書く。

考え方

・使用する文体を先に決める。

・資料の課題に対する方法を書く。

・各文末だけを続けて読み、混在を直す。

構成例

・主張：二つの場所に同じ連絡を示す。

・理由：情報差が忘れ物の原因になる。

・補足：担当者が両方を確認する。

正答：大切な連絡は、黒板と共有画面に同じ内容を示すべきである。見る場所によって情報が違うと、持ち物を忘れる原因になるからだ。最後に担当者が両方を確認する仕組みも必要である。

模範解答

大切な連絡は、黒板と共有画面に同じ内容を示すべきである。見る場所によって情報が違うと、持ち物を忘れる原因になるからだ。最後に担当者が両方を確認する仕組みも必要である。

文字数確認

文字数：83字（指定字数：80〜130字）

条件を満たしている箇所

・二つの場所に同じ内容を示す考えがある。

・情報の違いが忘れ物につながるという資料の課題を踏まえている。

都立入試ナビ

・文末が「である」「からだ」で統一されている。

主張

黒板と共有画面に同じ連絡内容を示すべきである。

理由

見る場所による情報の違いが忘れ物を生むから。

具体例

担当者が二つの表示を最後に確認する仕組み。

段落構成

一段落で、方法・理由・実行上の補足を並べる。

使用表現

・～すべきである。

・～原因になるからだ。

・～も必要である。

詳しい解説

内容だけでなく文体の統一も読みやすさに関わります。「です」と「である」を混ぜず、文末を機械的に確認します。

採点観点

資料の課題への対応、理由、提案の実行可能性、文末表現の統一を確認します。

間違いやすい点

一文目を「示すべきです」、二文目を「からだ」として敬体と常体を混ぜること。

別の適切な書き方

大切な連絡は、学級で確認する時間を設けた上で、黒板と共有画面に同じ文で残すべきである。聞く、見るという二つの方法を組み合わせれば、見落としを減らせるからだ。

見直しポイント

文末だけを丸で囲み、「だ・である」調以外がないかを上から順に確認する。

問題 6

区分：標準

資料Eを踏まえ、中学生が地域の防災訓練に参加することについて、自分の考えを理由と具体例を含めて書きなさい。

都立入試ナビ

設問条件

・資料Eの提案を踏まえる。

・自分の考えを明確にする。

・理由と具体例を含める。

・120〜170字で書く。

考え方

・資料の提案と期待される効果を整理する。

・自分の立場を冒頭に書く。

・学校での似た経験を具体例として加える。

・最後に地域での行動へ結ぶ。

構成例

・第一段落：参加への賛成意見と資料から考えた理由。

・第二段落：学校での誘導経験と今後の行動。

正答：私は、中学生も地域の防災訓練に役割を持って参加すべきだと考える。資料にある受付や案内を担当すれば、地域の人と顔見知りになり、災害時に声を掛け合いやすい。私も学校の避難訓練で下級生を誘導し、役割があると周囲をよく見るようになると学んだ。地域でもその経験を生かしたい。

模範解答

私は、中学生も地域の防災訓練に役割を持って参加すべきだと考える。資料にある受付や案内を担当すれば、地域の人と顔見知りになり、災害時に声を掛け合いやすい。私も学校の避難訓練で下級生を誘導し、役割があると周囲をよく見るようになると学んだ。地域でもその経験を生かしたい。

文字数確認

文字数：132字（指定字数：120〜170字）

条件を満たしている箇所

・役割を持って参加すべきだという考えがある。

・受付や案内という資料の提案を踏まえている。

・災害時の協力という理由がある。

・下級生を誘導した具体的経験がある。

主張

中学生も地域の防災訓練に役割を持って参加すべきである。

理由

地域の人と顔見知りになり、災害時に協力しやすくなるから。

都立入試ナビ

具体例

学校の避難訓練で下級生を誘導した経験。

段落構成

意見と理由を第一段落、具体的経験と今後を第二段落にする。

使用表現

・～すべきだと考える。

・資料にある～を担当すれば、～。

・私は～と学んだ。

詳しい解説

資料の提案を自分の経験につなげると、意見の根拠が具体的になります。経験の説明は、何をして何を学んだかに絞ります。

採点観点

資料の提案の理解、自分の意見、理由、具体的経験、文章全体のまとまりを確認します。

間違いやすい点

防災の大切さを一般的に述べるだけで、中学生が参加することへの意見や資料中の役割に触れないこと。

別の適切な書き方

中学生の全員参加を求めるのではなく、希望者が案内や記録を担当する形がよい。部活動と重なる人にも配慮しながら役割を選べれば、無理なく地域とのつながりを作れる。

見直しポイント

資料から借りた要素、自分の意見、自分の経験に別々の印を付け、三つがそろっているかを見る。

問題 7

区分：標準

資料Fを踏まえ、学級で新しく行う活動を一つ提案し、その理由と実施方法を書きなさい。

設問条件

・表の数値を一つ以上用いる。

・活動を一つ提案する。

・理由と実施方法を書く。

・120～170字で書く。

考え方

・回答数の最も多い項目を確認する。

都立入試ナビ

・数値から言えることだけを書く。

・活動の頻度、人数、進め方を具体化する。

・方法によって得られる効果をまとめる。

構成例

・提案：月一回の話合い。

・根拠：十二人で回答数が最も多い。

・方法：議題募集、班で意見、全体で解決案。

・効果：発言しやすく全員の考えを生かせる。

正答：私は、月に一度、学級の課題を話し合う時間を設けることを提案する。資料では、話合いを増やしたい人が十二人で最も多い。そこで、事前に議題を集め、四人程度の班で意見を出した後、全体で解決案をまとめる。少人数から始めれば発言しやすく、全員の考えを生かせる活動になる。

模範解答

私は、月に一度、学級の課題を話し合う時間を設けることを提案する。資料では、話合いを増やしたい人が十二人で最も多い。そこで、事前に議題を集め、四人程度の班で意見を出した後、全体で解決案をまとめる。少人数から始めれば発言しやすく、全員の考えを生かせる活動になる。

文字数確認

文字数：129字（指定字数：120～170字）

条件を満たしている箇所

・話合いを提案している。

・十二人で最多という数値を使っている。

・要望が多いことを理由にしている。

・議題募集、班、全体共有という実施方法がある。

主張

月に一度、学級の課題を話し合う時間を設ける。

理由

アンケートで話合いを増やしたい人が最も多かったから。

具体例

四人程度の班で意見を出してから全体で解決案をまとめる方法。

段落構成

一段落で、提案・数値根拠・方法・効果を順に置く。

都立入試ナビ

使用表現

・資料では、～が十二人で最も多い。

・そこで、～。

・～すれば、～活動になる。

詳しい解説

表から読み取れる事実と自分の提案を区別します。数値は提案の根拠にし、方法は実際に行える程度まで具体化します。

採点観点

数値の正確さ、一つの提案、理由、具体的な実施方法、因果関係を確認します。

間違いやすい点

表にない割合を作ることや、複数の活動を同時に提案して実施方法が曖昧になること。

別の適切な書き方

私は、隔週で本を紹介する時間を提案する。希望者は九人で二番目に多い。毎回三人が一分ずつ紹介し、気になった本をカードに記録すれば、短時間でも新しい本を知る機会を作れる。

見直しポイント

作文中の数字を表と指で照合し、その数字が直後の提案を支えているか確認する。

問題 8

区分：標準

資料Gの二つの意見を踏まえ、調べ学習の記録方法について、自分の考えと理由、具体的な手順を書きなさい。

設問条件

・二つの意見の違いを踏まえる。

・自分の立場と理由を書く。

・具体的な手順を示す。

・130～180字で書く。

考え方

・二つの意見の長所を一つずつ整理する。

・どちらか一方か、組み合わせるかを決める。

・自分の案が長所をどう生かすかを書く。

・実行順序を具体的に示す。

都立入試ナビ

構成例

・主張：個人で整理してから共有する。

・理由：二つの方法の長所を生かせる。

・手順：三項目をノートに記録し、確認後に共有。

・まとめ：速さと正確さの両立。

正答：私は、最初に自分のノートで情報を整理し、その後すぐ共有文書へ要点を書く方法がよいと考える。葵の方法には進み具合が分かるよさがあり、直人の方法には情報を確かめられるよさがあるからだ。資料名、分かったこと、疑問点の三項目をノートに書き、確認後に班へ共有すれば、速さと正確さを両立できる。

模範解答

私は、最初に自分のノートで情報を整理し、その後すぐ共有文書へ要点を書く方法がよいと考える。葵の方法には進み具合が分かるよさがあり、直人の方法には情報を確かめられるよさがあるからだ。資料名、分かったこと、疑問点の三項目をノートに書き、確認後に班へ共有すれば、速さと正確さを両立できる。

文字数確認

文字数：141字（指定字数：130〜180字）

条件を満たしている箇所

・個人整理の後に共有する立場が明確である。

・葵と直人の意見のよさをそれぞれ捉えている。

・速さと正確さの両立を理由にしている。

・三項目を記録して共有する手順がある。

主張

個人で情報を整理してから、すぐ共有文書へ要点を書く。

理由

班の進み具合の共有と情報の確認を両立できるから。

具体例

資料名、分かったこと、疑問点をノートに書いてから共有する手順。

段落構成

一段落で、主張・二意見の整理・手順・効果をつなぐ。

使用表現

・〜には〜よさがあり、〜には〜よさがある。

・確認後に〜すれば、〜を両立できる。

都立入試ナビ

詳しい解説

意見が分かれる資料では、片方を否定するだけでなく、違いを正確に捉えた上で自分の判断基準を示します。

採点観点

二意見の理解、自分の立場、理由、手順の具体性、文章のまとまりを確認します。

間違いやすい点

会話の二人の意見を入れ替えることや、「どちらもよい」で終わって自分の手順を決めないこと。

別の適切な書き方

私は、調べた要点をまず共有文書へ書き、後で各自が根拠を確認する方法を選ぶ。班で同じ資料を重ねて調べることを防げるからだ。ただし、未確認の情報には印を付け、確認できた人が出典を追記する。

見直しポイント

葵の意見、直人の意見、自分の案に三種類の印を付け、どれかが欠けていないか確認する。

問題 9

区分：標準

資料Hを踏まえ、引継ぎ文書を分かりやすくする方法について、残す情報を選び、その理由とともに書きなさい。

設問条件

・資料Hの課題を踏まえる。

・残す情報を二つ以上選ぶ。

・選ぶ理由を書く。

・130〜180字で書く。

考え方

・資料の情報を「必ず使う・時々使う・なくてもよい」に分ける。

・優先して残す情報を二つ決める。

・利用場面から理由を書く。

・省く情報や別にする情報も示す。

構成例

・主張：操作手順と失敗への対処法を優先。

・理由：実作業ですぐ必要。

・整理：注意点は別一覧、感想は省略。

・補足：見出しと番号で検索しやすくする。

都立入試ナビ

正答：引継ぎ文書には、機器の操作手順と、よく起こる失敗への対処法を優先して残すべきだ。次の担当者が実際に作業するとき、すぐ必要になる情報だからである。行事ごとの注意点は別の一覧にし、担当者の感想は省く。見出しと番号を付ければ、長い文書でも目的の情報を探しやすくなる。

模範解答

引継ぎ文書には、機器の操作手順と、よく起こる失敗への対処法を優先して残すべきだ。次の担当者が実際に作業するとき、すぐ必要になる情報だからである。行事ごとの注意点は別の一覧にし、担当者の感想は省く。見出しと番号を付ければ、長い文書でも目的の情報を探しやすくなる。

文字数確認

文字数：130字（指定字数：130〜180字）

条件を満たしている箇所

・長くて探しにくいという課題に対応している。

・操作手順と失敗への対処法を選んでいる。

・実作業ですぐ必要という理由がある。

・一覧化、省略、見出しと番号という整理方法がある。

主張

操作手順と失敗への対処法を優先して残す。

理由

次の担当者が実際の作業ですぐ必要とする情報だから。

具体例

行事の注意点を別一覧にし、見出しと番号を付ける。

段落構成

一段落で、残す情報・理由・整理方法・効果をまとめる。

使用表現

・〜を優先して残すべきだ。

・〜とき、すぐ必要になる情報だからである。

・〜は別の一覧にする。

詳しい解説

字数内にまとめるには、全情報を同じ重さで扱わず、目的に合う情報を選びます。何を省くかも判断の一部です。

採点観点

資料の課題、情報の選択、選択理由、整理方法、指定字数を確認します。

都立入試ナビ

間違いやすい点

資料にある四項目をすべて列挙し、選択理由を書けなくなることや、担当者の感想を事実の手順と混ぜること。

別の適切な書き方

操作手順と行事ごとの注意点を本文に残し、失敗例は検索できる別ページにまとめる。基本作業と特別な日の作業を先に確認でき、困ったときだけ失敗例を探せるため、文書全体が短くなる。

見直しポイント

選んだ情報に丸、省く情報に線を引き、本文中に選択理由が一つ以上あるか確認する。

問題 10

区分：標準

資料Iを踏まえ、失敗を記録することについて、自分の経験と考えを二段落で書きなさい。

設問条件

・資料Iの内容を踏まえる。

・自分の経験を一つ書く。

・経験から得た考えを書く。

・二段落、140〜180字で書く。

考え方

・第一段落に失敗、原因、改善行動を書く。

・第二段落で資料と経験を結び付ける。

・最後に一般化した考えを書く。

構成例

・第一段落：符号の間違いと記録による改善。

・第二段落：失敗を次の行動の材料にする考え。

正答：私は数学の小テストで、符号を直すだけで終え、次のテストでも同じ間違いをしたことがある。その後、間違えた理由を「負の数を急いで計算した」とノートに書き、確認手順を決めた。資料の生徒のように失敗の理由と次の方法を残せば、見直しが具体的になる。失敗は消すものではなく、次の行動を決める材料として使うことが大切だ。

模範解答

私は数学の小テストで、符号を直すだけで終え、次のテストでも同じ間違いをしたことがある。その後、間違えた理由を「負の数を急いで計算した」とノートに書き、確認手順を決めた。
資料の生徒のように失敗の理由と次の方法を残せば、見直しが具体的になる。失敗は消すものではなく、次の行動を決める材料として使うことが大切だ。

都立入試ナビ

文字数確認

文字数：153字（指定字数：140～180字）

条件を満たしている箇所

・符号の間違いを繰り返した経験がある。

・理由と確認手順を記録した変化がある。

・資料の記録方法を踏まえている。

・二段落目に失敗の捉え方についての考えがある。

主張

失敗は次の行動を決める材料として記録することが大切である。

理由

理由と次の方法を残すと、見直しが具体的になり、同じ誤りを防ぎやすいから。

具体例

負の数の計算を急いだ原因と確認手順をノートに記録した経験。

段落構成

第一段落は具体的経験、第二段落は資料を踏まえた考えとまとめ。

使用表現

・～したことがある。

・その後、～。

・資料の生徒のように～。

・～として使うことが大切だ。

詳しい解説

段落を変える位置は、具体的経験から一般的な考えへ話題が移る所です。二段落の役割をはっきりさせます。

採点観点

資料理解、具体的経験、経験から得た考え、二段落の役割、字数を確認します。

間違いやすい点

段落を二つに分けただけで内容の役割が同じになることや、資料に触れず自分の失敗談だけで終わること。

別の適切な書き方

英単語のつづりを何度も間違えたとき、誤った形と正しい形を並べて記録した。似た文字の順序を比べると、注意点が明確になった。この経験から、失敗は原因まで言葉にして残すと学びに変えられると考える。

都立入試ナビ

見直しポイント

改行の前後を読み、第一段落が経験、第二段落が考えになっているか、段落を入れ替えずに読めるか確認する。

問題 11

区分：本番形式

文章Aの考えと資料Jを踏まえ、学校図書館の利用を増やす方法について、あなたの意見を書きなさい。

設問条件

・文章Aの「目的に応じた選択肢」という考えを踏まえる。

・資料Jの数値を一つ以上用いる。

・自分の意見を明確にする。

・理由または具体例を含める。

・二段落、180〜200字で書く。

考え方

・文章Aの主張を「目的別の選択肢」と要約する。

・資料Jで最も多い理由を確認する。

・二つを解決できる具体策を決める。

・第一段落に意見・数値・方法、第二段落に文章との関係・経験・まとめを書く。

構成例

・第一段落：目的別案内の提案、十八人という根拠、案内内容。

・第二段落：文章Aとのつながり、個人の経験、利用の第一歩というまとめ。

正答：私は、利用目的を選べる案内を図書館の入口と学校の共有画面に示すべきだ。資料では「読みたい本が分からない」が十八人で最も多い。そこで、気分や関心から本を選べる短い紹介と、調べ学習や話合いに使える時間帯を示す。文章が述べるように、利用者を一つの使い方に合わせず、目的別の入口を用意すればよい。私は本選びに迷ったとき、友達の一言で新しい作品に出会えた。小さな案内が利用の最初の一歩になる。

模範解答

私は、利用目的を選べる案内を図書館の入口と学校の共有画面に示すべきだ。資料では「読みたい本が分からない」が十八人で最も多い。そこで、気分や関心から本を選べる短い紹介と、調べ学習や話合いに使える時間帯を示す。
文章が述べるように、利用者を一つの使い方に合わせず、目的別の入口を用意すればよい。私は本選びに迷ったとき、友達の一言で新しい作品に出会えた。小さな案内が利用の最初の一歩になる。

文字数確認

文字数：191字（指定字数：180〜200字）

都立入試ナビ

条件を満たしている箇所

・目的別の案内を示す意見が明確である。

・十八人で最多という数値を正確に使っている。

・文章Aの「目的に応じた選択肢」を言い換えている。

・友達の一言で本に出会った具体的経験がある。

・二段落で180〜200字に収めている。

主張

目的を選べる案内を図書館入口と共有画面に示すべきである。

理由

読みたい本が分からない生徒が最も多く、目的別の入口が選択を助けるから。

具体例

友達の一言で新しい作品に出会えた経験。

段落構成

第一段落は資料に基づく提案、第二段落は文章の主張・経験・結論。

使用表現

・資料では〜が十八人で最も多い。

・文章が述べるように、〜。

・小さな〜が最初の一歩になる。

詳しい解説

文章と表の二資料を別々に紹介するのではなく、一つの提案を支える根拠として組み合わせます。経験は、提案の効果を身近に示します。

採点観点

文章Aの主張の理解、資料数値の正確さ、意見、理由・経験、二段落構成、180〜200字を確認します。

間違いやすい点

十八人を割合に変えて根拠のない数値を書くこと、図書館のよさだけを述べて利用を増やす方法を示さないこと。

別の適切な書き方

昼休みに「静かに読む場所」と「資料を相談する場所」を分け、利用時間を毎週知らせる方法がよい。目的別の場所を選べれば、話合いに使えると知らない九人にも新しい使い方が伝わる。

都立入試ナビ

見直しポイント

文章A、資料J、自分の経験に三色の線を引き、それぞれが提案を支えているか、文字数が180〜200字か再計算する。

問題 12

区分：本番形式

文章Bと会話を踏まえ、中学生が地域交流会に参加しやすくなる方法について、あなたの意見を書きなさい。

設問条件

・文章Bの役割についての考えを踏まえる。

・会話中の不安に対応する。

・具体的な方法を一つ以上示す。

・自分の考えと理由を書く。

・二段落、180〜200字で書く。

考え方

・会話から不安の内容を二つ整理する。

・文章Bから役割の効果と注意点を要約する。

・不安と注意点の両方に対応する方法を決める。

・経験を一つ加え、方法の効果を確かめる。

構成例

・第一段落：友達参加、選べる役割、事前案内。

・第二段落：文章Bの主張、写真係の経験、選び直せる仕組み。

正答：私は、中学生が友達と参加し、受付、写真、子供との遊びなどから役割を選べる仕組みを提案する。事前に活動内容と所要時間を学校で知らせれば、「何をする会か分からない」という不安も減らせる。文章Bが述べるように、小さな役割は人へ声を掛ける理由になる。私も行事で写真係を選んだとき、撮影を頼む会話から知り合いが増えた。役割は毎回選び直せるようにし、参加のきっかけと負担の少なさを両立させたい。

模範解答

私は、中学生が友達と参加し、受付、写真、子供との遊びなどから役割を選べる仕組みを提案する。事前に活動内容と所要時間を学校で知らせれば、「何をする会か分からない」という不安も減らせる。
文章Bが述べるように、小さな役割は人へ声を掛ける理由になる。私も行事で写真係を選んだとき、撮影を頼む会話から知り合いが増えた。役割は毎回選び直せるようにし、参加のきっかけと負担の少なさを両立させたい。

文字数確認

文字数：191字（指定字数：180〜200字）

都立入試ナビ

条件を満たしている箇所

・友達との参加と選べる役割を提案している。

・活動内容が分からない不安への対応がある。

・文章Bの「役割が声掛けの理由になる」を踏まえている。

・写真係の具体的経験がある。

・役割を選び直せるという負担への配慮がある。

主張

友達と参加し、複数の小さな役割から選べる仕組みにする。

理由

活動内容と役割が分かれば不安が減り、役割が会話のきっかけになるから。

具体例

行事で写真係を選び、撮影を頼む会話から知り合いが増えた経験。

段落構成

第一段落は問題への具体策、第二段落は文章との関係・経験・負担への配慮。

使用表現

・～から役割を選べる仕組みを提案する。

・～という不安も減らせる。

・～を両立させたい。

詳しい解説

文章Bの利点だけでなく、役割を固定すると負担になるという注意点まで使うと、提案が一面的になりません。

採点観点

文章Bと会話の理解、具体策、理由、経験、反対面への配慮、二段落、字数を確認します。

間違いやすい点

参加を呼び掛けるだけで不安への対応を書かないことや、役割を義務にして文章Bの注意点と矛盾すること。

別の適切な書き方

交流会の前に十分間の説明会を開き、経験者と初参加者を二人組にする。役割は当日に変更できるようにすれば、一人で行く不安と固定された負担を減らしながら参加できる。

見直しポイント

会話の不安、文章Bの利点、文章Bの注意点をそれぞれ丸で囲み、提案が三つに答えているか確認する。

都立入試ナビ

問題 13

区分：本番形式

文章Cと資料Kを踏まえ、情報を共有するときに大切なことについて、あなたの意見を書きなさい。

設問条件

・文章Cの「速さと確かさを両立する」という考えを踏まえる。

・資料Kの手順を一つ以上用いる。

・自分の意見を明確にする。

・理由または具体的な経験を含める。

・二段落、180〜200字で書く。

考え方

・文章Cの対比と結論を整理する。

・資料Kから自分が重視する確認項目を選ぶ。

・第一段落で意見、理由、確認方法を書く。

・第二段落で経験を示し、文章Cの考えに戻ってまとめる。

構成例

・第一段落：元の連絡と変更を確認する意見、急ぐときの手順、共有相手。

・第二段落：古い時刻を送った経験、文章Cとの関係、今後の行動。

正答：私は、情報を共有する前に、元の連絡文と変更の有無を短い手順で確かめることが大切だと考える。急ぐときほど確認する項目を決めておけば、迷わず行動できる。共有する相手まで確かめれば、必要のない人へ広がることも防げる。以前、集合時刻の変更を友達から聞いてすぐ送ったが、古い連絡だと分かり訂正したことがある。文章Cの通り、速さだけでは受け手を迷わせる。元の情報へ戻る習慣を持ち、速く確かに伝えたい。

模範解答

私は、情報を共有する前に、元の連絡文と変更の有無を短い手順で確かめることが大切だと考える。急ぐときほど確認する項目を決めておけば、迷わず行動できる。共有する相手まで確かめれば、必要のない人へ広がることも防げる。
以前、集合時刻の変更を友達から聞いてすぐ送ったが、古い連絡だと分かり訂正したことがある。文章Cの通り、速さだけでは受け手を迷わせる。元の情報へ戻る習慣を持ち、速く確かに伝えたい。

文字数確認

文字数：194字（指定字数：180〜200字）

条件を満たしている箇所

・元の連絡文と変更の有無を確認する意見がある。

・資料Kの複数の手順を使っている。

都立入試ナビ

・速さと確かさの両立という文章Cの考えを踏まえている。

・古い集合時刻を共有して訂正した経験がある。

・二段落で180〜200字に収めている。

主張

共有前に元の連絡文と変更の有無を短い手順で確認することが大切である。

理由

確認項目を決めれば、急ぐときも速さを落としすぎず誤情報を防げるから。

具体例

古い集合時刻を友達へ送り、後から訂正した経験。

段落構成

第一段落は意見と方法、第二段落は経験・文章Cとの関係・結論。

使用表現

・急ぐときほど〜。

・以前、〜ことがある。

・文章Cの通り、〜。

・〜習慣を持ち、〜たい。

詳しい解説

文章Cの結論を自分の確認方法と経験で具体化します。資料Kの全手順を列挙せず、自分の意見に必要な項目を選びます。

採点観点

文章Cの主張、資料Kの利用、意見、理由・経験、二段落構成、180〜200字を確認します。

間違いやすい点

情報は速く伝えるべきか慎重に伝えるべきかの二択にし、両立の方法を書かないことや、経験が確認手順と結び付かないこと。

別の適切な書き方

発信者と日時を先に確かめ、元の連絡文の画像を添えて必要な相手だけに共有する方法がよい。確認済みだと分かる形にすれば、受け手も安心して次の行動を選べる。

見直しポイント

文章C、資料K、経験の三要素に印を付け、最後の一文が冒頭の意見に戻っているか、文字数を機械的に再計算する。

都立入試ナビ

部分点について

東京都教育委員会の参考資料では、各学校が採点のポイントを踏まえて部分点の基準と点数を定めます。本教材は共通の観点だけを示し、一律の部分点や減点数を設定しません。

総合見直し

・設問で求められた内容をすべて含めている。

・資料や文章の要点と自分の考えがつながっている。

・主張が一文で言えるほど明確である。

・主張を支える理由がある。

・必要な場合は具体的な体験、見聞、例がある。

・段落ごとの役割が分かれ、話題が飛んでいない。

・文末表現が不自然に混ざっていない。

・主語と述語、接続語、指示語の関係が明確である。

・句読点・記号を含めて指定字数内である。

・誤字脱字、送り仮名、同じ語の重複を見直した。

公式情報確認日：2026-07-30

都立入試ナビ
都立入試ナビ
都立入試ナビ